

# 辻南小学校コミスクだより

## 令和6年度コミュニティ・スクール始動！

### ～ 南風委員会スローガン「考動する辻南っ子」の具現化へ ～

6月7日（金）に第1回辻南小学校学校運営協議会を開催しました。委嘱状の交付を行い、学校運営協議員14名による令和6年度学校運営協議会が始動しました。

令和3年度から始まったコミュニティ・スクール。コミュニティ・スクールは学校が抱えている課題等を解決する組織です。また、学校・地域・家庭が協働して地域の未来を担う児童の育成に携わること家庭、地域、学校が当事者意識をもって連携し、地域とともにある学校づくりの実現や協働・連携した子どもの育成が求められています。子どもを中心に関わる人たち一人ひとりのWell-Beingを大切にしたい取組をし、めざす子ども像を具現化していきましょう。

令和5年度は、以下の学校の目指す児童像実現のために

「よく考え、学び合う子」「優しく思いやりのある子」「ねばり強くものごとに取り組む子」



人と人をつなぐ「あいさつ」ができる子どもの育成

を図る取組を学校・地域・家庭が協働して行ってきました。その取組を継続しつつ、さらに令和6年度は、目指す児童像実現のために児童が動きました。その第一歩が、南風委員会が決めたスローガンです。

### 南風委員会がスローガン 「考動する辻南っ子」

～㊦つつ勉強 ㊧んどうを楽しむ ㊨んどんチャレンジ ㊩つくし学校に～

この子どもたちが主体的に決めたスローガン実現のために、会長の議事進行で家庭、地域、学校が3グループに分かれて熟議を行い、取組を総括しました。各グループから出た主な意見は以下の通りです。

家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭で指示待ちが多いので、ゆとりのある時間に振り返りをさせたい。また忘れないように記録をすることも必要である。</li> <li>・大人の「ものさし」と子どもの「ものさし」が違うので子どもの「ものさし」を大切にしていける必要がある。</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域の活動」（イベント）を上手に伝える工夫が必要→南風委員会に直接お願いする取組</li> <li>・特に盆踊りは子どもが踊れないので、ロング昼休みなどを利用して練習してもらおう取組もよいのではないか。</li> <li>・子どもが「考動」し、それを大人が受け止めて動くことが大切である。</li> </ul>
学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「考動する辻南っ子」というスローガンを基にサブテーマが具体的でよくわかる。</li> <li>・今までやってきたことがどこにつながっているのかメタ認知させることが大切である。</li> <li>・「どんどんチャレンジ」を具現化するのに主体性を伸ばす場や仕組みを用意する必要がある。</li> </ul>

上の意見を受け、家庭・地域・学校が当事者意識をもち連携していくことが必要です。より充実した取組を継続・推進していくことになりました。その他、各学校の学校経営の基本方針等のさいたま市学校運営協議会規則第5条に基づいた承認やいじめ防止対策委員会について話し合いが行われました。いよいよ次回第2回学校運営協議会（10月11日）に南風委員会児童が参加し、児童の取組をプレゼンするとともに、委員との意見交換の場を設定します。子どもたちと委員の皆さんでどんな熟議になるかご期待ください。